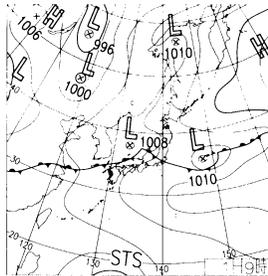


日々の天気図

— No. 6

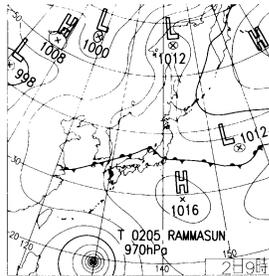
2002年7月

・台風第5号、第6号、第7号、第8号、第9号、第11号の6個が相次いで日本に接近し、このうち第6号と第7号の2個が上陸。
 ・接近数6個は、7月の平均(2.1個)に比べて多く、4個が7月前半に集中。
 ・10～11日、台風第6号と前線により、東海から関東、東北、北海道にかけての太平洋側を中心に記録的な大雨。
 (気象庁予報部予報課)



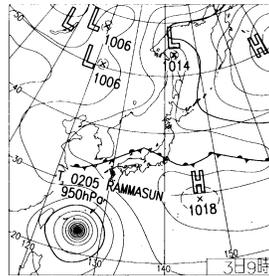
1日(月) 梅雨空の富士山開き

梅雨前線は日本海沿岸から関東へ延びて停滞。北海道と九州南部は晴れ、他は曇りや雨で、九州北部は100～140mmの大雨。南西諸島は最高気温が32～34℃と真夏の暑さ。



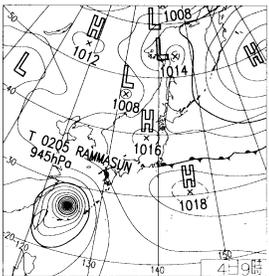
2日(火) 梅雨前線停滞

梅雨前線は昨日と変わらず、日本海から北陸、関東を通して東海上に延びている。このため山陰、北陸の一部と東北地方は雨。台風第5号は北西進し沖縄に接近。



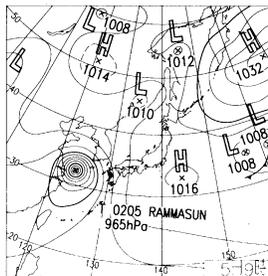
3日(水) 台風第5号宮古島通過

大型で非常に強い台風第5号は20時30分頃宮古島を通過し、最低気圧945.5hPaを記録。最大瞬間風速は宮古島で47.0m/s、石垣島で36.1m/s、平良市で20時に36mmの激しい雨。



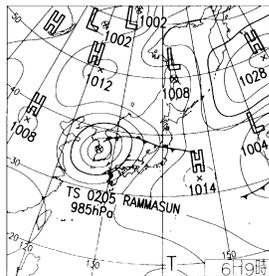
4日(木) 沖縄暴風雨続く

台風第5号は東シナ海を北上、沖縄地方は昨日から暴風雨続く。梅雨前線は関東以西で弱まり曇り空、北日本は晴れ、千葉県では光化学スモッグが発生し28年ぶりの警報発表。



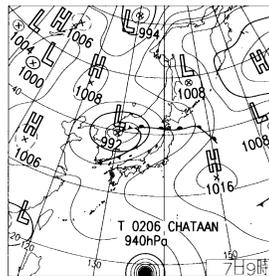
5日(金) 九州南部で激しい雨

九州の西の東シナ海を台風第5号が北上。台風の外側の雨域がかかって九州南部を中心に激しい雨。宮崎県日之影町で21時までの3時間に109mm、長野県では雷雨となり降雹。



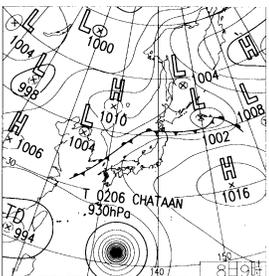
6日(土) 台風第5号朝鮮半島横断

台風第5号は朝鮮半島から日本海へ進み夜には温帯低気圧に。関東南東海上の高気圧が南西諸島へ張り出し、南西諸島は晴れたが、その他は雨や曇り。



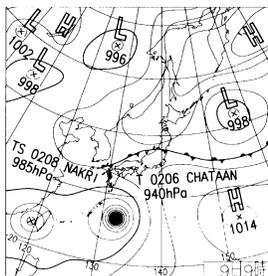
7日(日) 東京、熱帯夜初日

台風第5号から変わった低気圧が日本海を北東進。高気圧縁辺の暖湿流により、近畿から東日本の一部で雨。関東は南西風が強く晴れ間も広がるが、七夕は雲の間から。



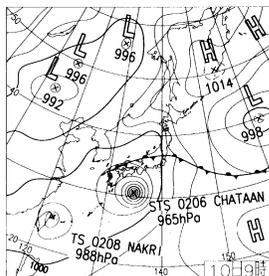
8日(月) 台風第7号発生

非常に強い台風第7号は、南大東島の南を北上。トラック島近海で第7号が発生。本州付近は広く高気圧に覆われ、熊谷35.9℃など関東中心に真夏の暑さ。



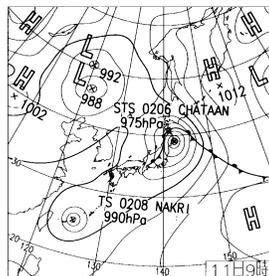
9日(火) 台風が3個

台風第6号は南大東島の東を北上、第7号ははるか南海上、さらに台湾海峡で第8号が発生。梅雨前線は本州上に停滞し、四国・中国・北陸で雨。関東以西は各地で真夏日続く。



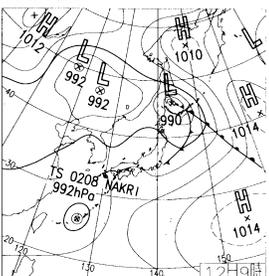
10日(水) 岐阜県で水害

台風第6号と梅雨前線により、東海・関東で大雨。岐阜・群馬・栃木などで被害発生、交通機関も混乱。日雨量、岐阜県根尾村495mm、静岡市井川450mm、山梨県増穂町423mm。



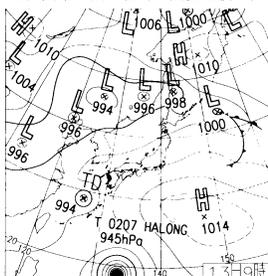
11日(木) 台風第6号房総上陸

台風第6号は房総半島を横断し太平洋沿岸を北上、夜には銚西市付近に再上陸した。北陸地方から北では曇りや雨で、大雨による被害や交通機関の乱れが広がる。



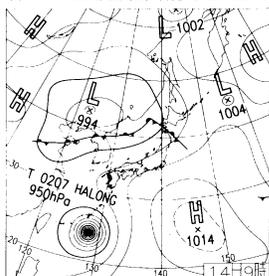
12日(金) 台風第6号温低化

台風第6号は、網走沖で温帯低気圧へ。太平洋高気圧が勢力を強め、本州以西は晴れて、各地で軒並み真夏日を記録。沖縄は台風第8号の影響で荒れた天気続く。



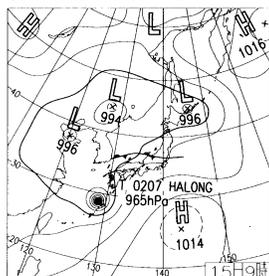
13日(土) 梅雨空に戻る

台風第7号は沖ノ島島近海から南西諸島方面へ、第8号は東シナ海を北上。北海道の所々で晴れたが、本州上空には弱い寒気が入って曇り空。関東から近畿・山陰では雷雨。



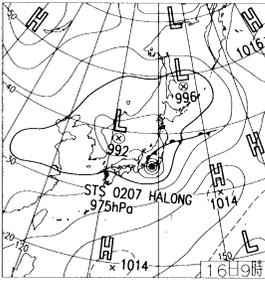
14日(日) 台風第7号沖縄を通過

台風第7号は午後9時頃に沖縄本島南部を通過。前線の影響で北日本は全般に雨。関東から九州は太平洋高気圧の圏内で晴れて、富山市で35.2℃、東京も今季初めて34℃を越える。

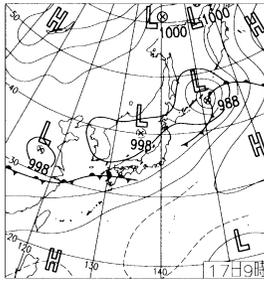


15日(月) 台風第9号が発生

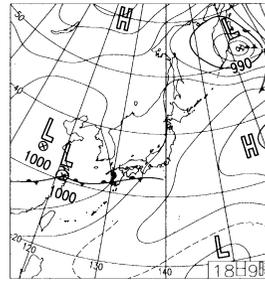
台風と梅雨前線で、全国的に雨や曇り。長野・新潟・沖縄で日雨量200mm以上の大雨。沖永良部で最大風速31.6m/s、屋久島では最大瞬間風速47.1m/s、マージナル諸島で第9号発生。



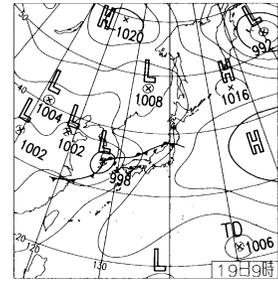
16日(火)台風第7号も関東上陸
台風第7号が9時過ぎに伊豆半島に上陸、11時には房総半島に再上陸。日雨量は岐阜県根尾村で175mm、東日本各地で浸水・土砂災害。三宅島で最大瞬間風速46.2m/s。



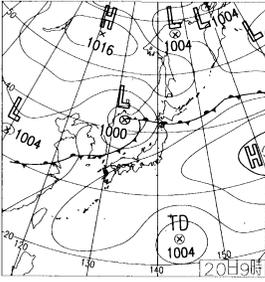
17日(水)首都圏の水がめ潤う
台風第7号は千島近海で温低化湿った空気の入った本州～九州は、寒冷低気圧の影響で各地で雷雨となった。屋久島で1時間47mm、2つの台風で関東各地のダム貯水量回復。



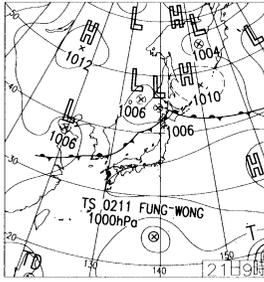
18日(木)大気の状態不安定
南海上から暖湿流が入り、大気の状態が不安定。西日本では雷雨や雨となる。種子島で23時に60mmの非常に激しい雨。東・北日本は太平洋高気圧におおわれて晴れ。



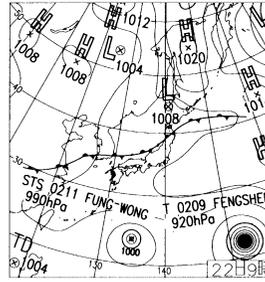
19日(金)梅雨前線北上
梅雨前線は北上し日本海側へ、太平洋高気圧は本州の南海上に張り出し、縁辺をまわって暖湿気流れ込む。東北から九州にかけ全般に雨の所が多かったが、北海道と沖縄では晴れ。



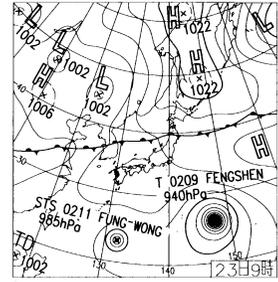
20日(土)関東～四国梅雨明け
太平洋高気圧に覆われた関東甲信・東海・近畿・四国で土用の梅雨明け。各地の最高気温は35℃以上の所が多く、埼玉県秩父で37.4℃。台風第10号がミッドウェー島付近で発生。



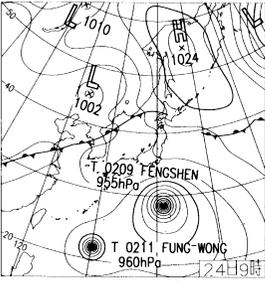
21日(日)九州・中国梅雨明け
梅雨前線が北海道付近まで北上。太平洋高気圧が少し勢力を強めて九州まで覆う。東北北部から北海道は曇りや雨の天気続くが、他は晴れて暑い。九州の梅雨明けは平年より遅め。



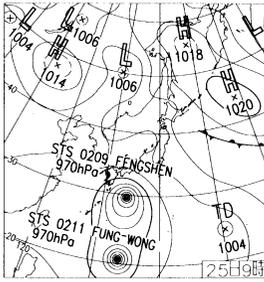
22日(月)非常に強い台風第9号
台風第9号は南島島近海で眼が明瞭となり、920hPaまで発達。太平洋高気圧が本州沿いに東西に延びており、台風は高気圧の南縁に沿っており、太平洋側では土用波に要注意。



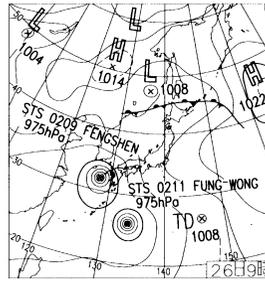
23日(火)文字通り「大暑」
梅雨前線は東北北部にかかるが活動は不活発。北陸と東北部で梅雨明け。今日は二十四節気の大暑、京都では体温並36.8℃の暑さ。台風第9号は引き続き西西北西進。



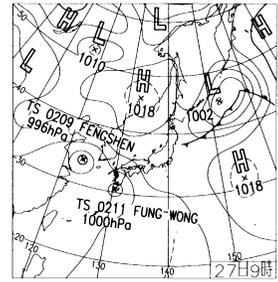
24日(水)猛暑の天神祭り
台風第9号は本州の南海上に西進。関東以西は日本海側を中心に晴れ。各地で35℃を超える暑さ。「天神祭り」の大阪は37.3℃。神戸からは平年より51日早いススキ開花の便り。



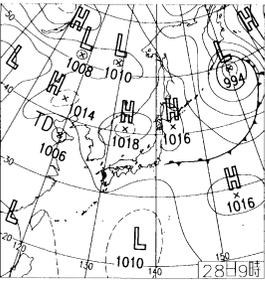
25日(木)東北北部梅雨明け
台風第9号は屋久島付近を通過。九州南部が暴風域に入り、鹿児島県志布志湾で貨物船が座礁し4名死亡。それでも、北海道以外は軒並み真夏日。ただ関東沿岸部は北東の涼風が入り、前日に続き熱帯夜を脱した。



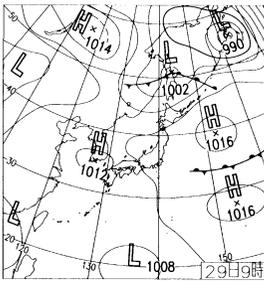
26日(金)台風九州西海上北西進
台風第9号は東シナ海を北西進。東北から近畿は太平洋高気圧に覆われ、晴れた所は真夏の暑さ。北海道と西日本の太平洋側は曇りや雨で、高知や宮崎県の一部で200～300mm。



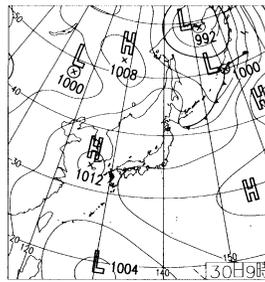
27日(土)台風相次いで九州へ
2つの台風に見まわれた九州は大雨。宮崎で400mm。高気圧に覆われた本州は晴天で気温が上昇。山陰ではフェーン現象が発生し、鳥取で37.3℃、豊岡で37.1℃を記録。



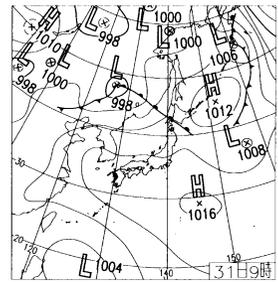
28日(日)西日本中心に猛暑
近畿以西は太平洋高気圧に覆われ厳しい暑さ。大阪府枚方市では38.2℃。夏休み・晴天・日曜日が重なりレジャーに出入、海山の事故も多く、全国で15人が死亡。



29日(月)軒並み真夏日
日本付近は緩やかに太平洋高気圧に覆われたが、大気不安定で曇りがち。それでも、北海道以外は軒並み真夏日。ただ関東沿岸部は北東の涼風が入り、前日に続き熱帯夜を脱した。



30日(火)光化学スモッグが発生
高気圧におおわれ全国的に気温は高め、西・東日本の所々で35℃以上。東京都に光化学スモッグ注意報が発令された。未明、青森県で震度3の地震。



31日(水)7月は2年続きの猛暑
北海道と南西諸島は前線や高気圧縁辺の暖湿流で曇りや雨。日雨量は石垣島で120mm。他は高気圧に覆われ晴天・猛暑続く。岐阜県多治見市で38.2℃。群馬県館林市38.0℃。